

生活協同組合 コープあいつ「福島議定書」地球温暖化防止 緩和・適応活動の概要

豊かでくらしやすい地域を大切に、子孫に対して、人類共通の財産である美しい地球を残すため、環境保全に配慮した事業活動を行います。経済と環境が両立した「持続可能な社会づくり」の為に、循環型システムの構築と人類共通の課題である地球温暖化対策をすすめます。原発に頼らないエネルギー政策や再生可能エネルギーの推進の為、施設や設備の省エネ化や再生可能エネルギーの利用促進を行います。

1. 温室効果ガス削減目標

温室効果ガスの排出量を、2030年までに2013年比45%以上削減する。2050年までに90%以上削減する。

- 地球温暖化は、私たちの暮らしを脅かします。持続可能な社会づくりを進めていくためにも、温室効果ガスの削減はコープあいつとしても重要な課題と捉え、具体的な目標を設定して取り組みを進めています。



2. 温室効果ガス削減の取り組み

- 天井照明やスポットライトは、すべてLED照明に変更しています。



- 店舗の飲料冷ケース、閉店後の冷却を停止。プレハブ冷蔵庫のファン停止。*少しでも無駄な電気は使用しないよう、設定変更やタイマーなどを活用して省エネ。



- 空調機・冷ケースの室外機に自動噴霧装置の設置

タイマーによって、ピークとなる時間帯に自動噴霧装置で室外機の熱交換フィンへの水かけを行い、効率のよい運転とピーク時の電力消費の抑制を行っています。



- フロンを使わない冷ケースの導入。フロン対策だけではなく、同じような冷ケースと比較して約15%程度省エネになります。また、蓋つきのケースを採用し、冷気の流出を防ぎます。



- 配管の断熱による放熱ロスの抑制



- 配送車両にエコドライブシステムを導入。無駄なアイドリングや急発進急ハンドルの抑制を行い、省エネ運転と安全運転につながります。



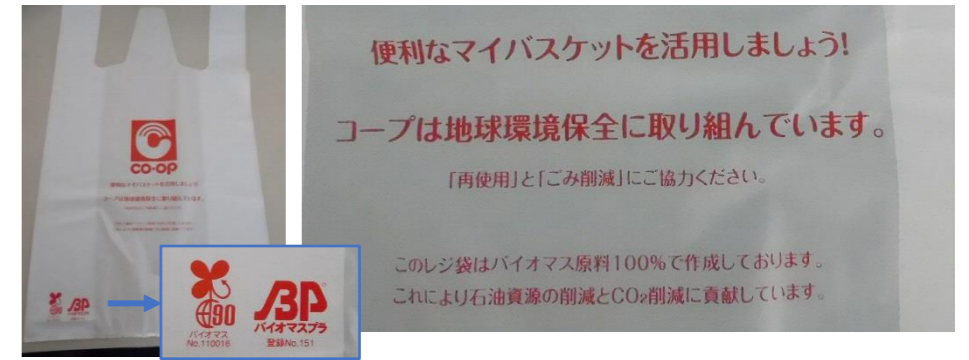
車両毎に、運転状況が点数化され管理者に表示されます。

3. 地球温暖化防止、「適応」の取り組み

- 台風や水害に対して、「タイムライン」の作成を行いました。「タイムライン」とは、災害に備え、予め時系列に対応を決めて対応を行います。
*台風の場合、7日前から情報収集し、5日前から監視、被害発生時に備えた行動を計画に沿って実施します。また、災害が発生した際も、どんな支援が必要かも予め計画を立て、早い復旧を目指します。

4. プラスチックの使用抑制

- レジ袋を、バイオマスプラスチック（90%使用）に切り替え、プラスチックの使用抑制を図っています。



- エシカル消費を進めています。プラスチックの使用量を抑制したペットボトル飲料や再生プラスチックを使用したレトルトカレーなどの普及を行っています。



ラベルの長さを短くしました
本体の重量 31g → 24g



回収ペットボトルを使用した包材を使用。

5. その他

- 「猪苗代湖クリーンアクション 2019Vol2 | N舟津浜」や「クリーンふくしま鶴ヶ城公園清掃」などの清掃活動にも参加しています。

